



「世界キャラクターさみっと in 羽生」で自衛隊をPR

埼玉地方協力本部は、熊谷地域事務所担当により十一月二十二日(土)、二十三日(日)の二日間にわたり羽生水郷公園で実施された「世界キャラクターさみっと in 羽生」において、募集ブースを開催し広報活動を実施した。

秋晴れに恵まれ、北海道から沖縄までの三十九都道府県と世界十ヶ国から計四百十体のキャラクターが参加し、家族連れを中心に二日で約四十一万人が来場し大いに賑わった。

「世界キャラクターさみっと in 羽生」ではキャラクターのファッションショーや十組のカップルをキャラクター達や来場者が祝福する結婚式が催され、大いに盛り上がった。

埼玉地本からは、サイボン三兄弟の三体が参加し会場内を回り各地のキャラクターとのコラボを行いPRに動めた。また会場内を走行しているミニSLに子供達と一緒に乗車をし、多くの方からの写真撮影に応じた。

この様子はNHKのTVニュースでも報道され多くの方にサイボンを認識してもらったこととなった。

埼玉地本は今後も地域の広報イベントに参加し、防衛に関する知識の普及に努めるとともに募集につなげていく所存である。



「クリスマスコンサート in かぞ」を支援

自衛隊埼玉地方協力本部は、十二月十三日(土)、パストラルかぞで行われた、陸上自衛隊第一音楽隊による「クリスマスコンサート in かぞ」を支援した。

今年で二十年目を迎える本コンサートは、加須市自衛隊父兄会主催で開催しており、加須市における年末恒例のイベントとなっている。

入場整理券は一ヶ月前に配布されたが、二時間前から並ぶ熱心なファンもあり、配布開始から約一〇分で終了となる程の人気であった。当日は、満席となる一、〇〇五名の来場者を迎えてのコンサートとなった。

演奏会はテンポの良い行進曲「荒鷲飛行中隊」から始まり、大流行したアナと雪の女王より「レット・イット・ゴー」等子供達も楽しめる曲目であった。

オーボエ、サクソフォン、トランペット、ドラムの独奏の他、ステージ上にはクリスマスツリーを配置したり、テープを纏った女性隊員によるハンドベルの美しい演奏やサンタクロース姿の隊員が観客席を演奏しながら動き回ったりとクリスマスの雰囲気包まれた。

また、「日本民謡続断まつり」の演奏時には、音楽隊長が法被姿にひよっここの面を被り現れ、踊りながら指揮をとる姿は会場を大いに盛り上げた。「花は咲く」の演奏に合わせて隊員と来場者が合唱する場面もあり、音楽隊と観客が一体となって楽しめた。

二時間の演奏時間があっという間に過ぎ、コンサート後には「毎年楽しみにしています。素晴らしい演奏で涙が出ました。」と賞賛の声がたくさん寄せられた。

今回の支援にあたりサイボン「りく」も参加し、開演までの待ち時間や演奏間の休憩時には、子供達とふれあい写真撮影に応じてコンサートを盛り上げた。

埼玉地本は、今後も埼玉県内のイベントに積極的に参加し、自衛隊への理解促進に尽力する所存である。

